

## 研究名：小児におけるカルシウム補正式の有用性の検証

### 1. 研究の目的

カルシウムは神経伝達や筋収縮、骨代謝、血液凝固機能への関与などの役割を担っており、生体内の様々な機能に不可欠です。血液中のカルシウムのうち、生物学的活性を有しているのはイオン化カルシウムであり、臨床の現場では総カルシウムからイオン化カルシウムを推定する補正式が広く用いられています。しかし、近年の成人を対象とした研究では、補正式がイオン化カルシウムの推定に有効ではないことが報告されています。小児においてもカルシウム補正式の使用は歴史的に行われていますが、成人のように補正式の有用性を評価した報告は殆どありません。本研究では18歳未満の患者データを用いた後方視的解析により、小児において補正式がイオン化カルシウムの評価に有用かを明らかにすることを目的とします。

### 2. 研究の方法

- ① 研究対象：2003年1月1日～2025年12月31日に当センターでカルシウムとイオン化カルシウムを同時に測定された18歳未満の小児患者
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年3月31日
- ③ 研究方法：電子診療情報データベースの情報を遡及的に分析します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、採血日時、輸血の有無、透析の有無、カルシウム、イオン化カルシウム TP、アルブミン、クレアチニン、尿素窒素、eGFR、シスタチン G、pH 等

情報利用開始日 2026年9月1日

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報  
は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

### 4. 個人情報の取り扱い

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター 研究責任者 飯島弘之

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、申出いただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合等は、データが削除できないことがあります。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 総合診療部 飯島弘之

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7416）